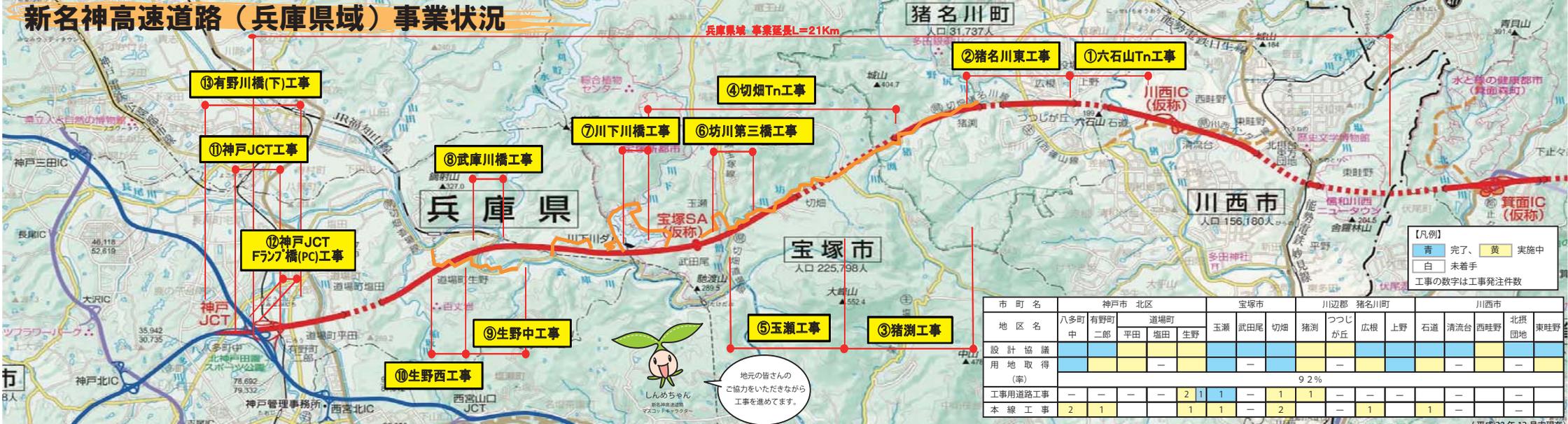


新名神高速道路（兵庫県域）事業状況

兵庫県域 事業延長L=21Km



市町名	神戸市 北区			宝塚市		川辺郡 猪名川町		川西市							
地区名	八多町	有野町	道場町	玉瀬	武田尾	切畑	猪瀬	つづが丘	広根	上野	石道	清流台	西畦野	北摂団地	東畦野
設計協議															
用地取得															
(率)							9	2							
工事用道路工事	-	-	-	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
本線工事	2	1	-	1	1	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-

【凡例】
 青 完了、黄 実施中
 白 未着手
 工事の数字は工事発件数

⑩神戸JCT フランプ橋(PC)工事

神戸ジャンクションのCランプ（山陽自動車道から中国自動車道（下り線）吉川方面）において、既設橋を拡幅するための橋桁の架設を終えました。写真は、2台のクレーンにより橋桁を据え付けしている状況です。



⑪神戸JCT工事

神戸ジャンクションにおいて、山陽自動車道との接続部分の工事を行っています。施工に際し、中国自動車道（下り線）を一時的に外側に迂回させる必要がありますので、神戸ジャンクション（中国道上り線から山陽道方面に向かうランプ）を2/7～3/7までの間、終日通行止めにして工事を行う予定としています。



⑨生野中工事（工事用道路）

高速道路本線の工事を行うために一般道路から本線工事現場までの取り付け道路などを整備しています。硬い岩の箇所は、発破をして岩を細かく砕きながら工事を進めています。



⑧武庫川橋工事

二級河川武庫川を横過する橋梁工事に着手しました。写真は、河川内に構築する橋脚の工事をしているところです。今年の非出水期内（H24.5.31まで）に、河川内の基礎工事などを完成させる予定です。



⑦川下川橋工事

川下川ダムの下流部に構築している橋長300mの橋梁です。先行して施工していた橋脚（写真奥側）に続き、大阪側の橋脚（写真手前側）も完成しました。上部工（車が通るところ）は、橋脚を中心として両側に移動作業台を設け、片側で最長110m張り出し、やじりべいのように施工していきます。



③猪瀬工事

新名神高速道路の工事用道路として使用する予定の県道切畑猪名川線を平日昼間に一時通行止めさせていただき、県道の拡幅工事を行っております。写真は、橋脚は、県道切畑猪名川線に隣接しているため、先行施工をしている新名神高速道路の本線橋です。



【第5回川西まつり、第44回いーなーいながわまつりに出席】

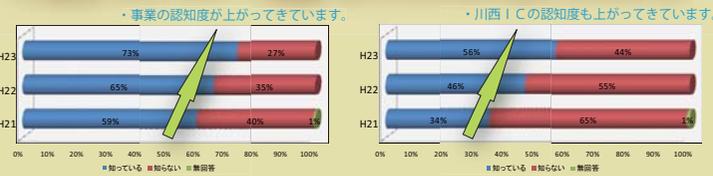
平成23年11月13日（日）に行われました『第5回川西まつり』（川西市商工会主催）と平成23年11月3日（木）に行われました『第44回いーなーいながわまつり』（同実行委員会主催）に出席しました。

川西まつりについては、今回で3回目の出席。黄色いパトロールカーや高所作業車の展示・実演、パネル・模型等を用いた新名神事業の解説、アンケートの実施を通じて、お客様と直接触れあうことができました。アンケートを頂いた方には、高速道路内で刈った雑草を再利用した堆肥と当社で栽培した花を配布し、盛況を得ることができました。

いーなーいながわまつりについては、今回が初めての出席となりましたが、当日は天候に恵まれ、非常に活気のあるお祭りです。予想人数をはるかに上回る方々のお立ち寄りいただきました。誠にありがとうございました。

お客様より頂いたアンケート結果については、事業認知度などの項目について過年度結果より増加している結果となりました。当日は事業に関する質問も数多く頂き、新名神建設事業への関心の高まりを感じることができました。この結果を真摯に受け、更なる事業PRを行い、皆様に認知していただけるよう努めてまいります。

○川西まつりアンケート結果（約500人の方に協力いただきました）



広根地区埋蔵文化財発掘調査 現地説明会

平成23年10月22日（土）猪名川町広根地区において、広根遺跡の発掘調査現地見学会が行われました。

この調査区では、古いもので縄文時代の土器や石器、古墳時代から奈良時代にかけての石敷遺構や平安時代の掘立柱建物跡、鍛冶を行った跡が見つかりました。猪名川町域での本格的な発掘調査は、初めてということもあって、当日は地元の方など約60名に参加いただき、兵庫県立考古博物館職員の方の説明を熱心に聞き、古の時代の文化に触れられていました。

猪名川町域においては、今後も他の箇所でも発掘調査を予定しており、調査が終わったところから順次、工事の準備に移ります。

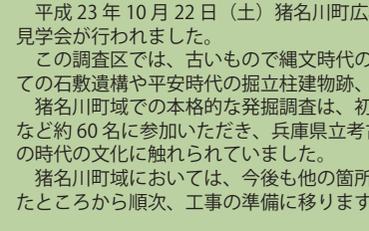


平田地区埋蔵文化財発掘調査 現地説明会

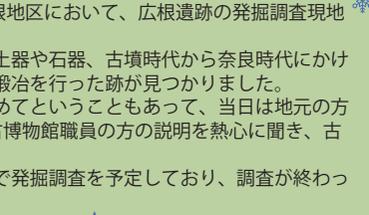
平成23年12月17日（土）神戸市北区の平田地区において、平田遺跡の発掘調査現地見学会が行われました。

この調査区は平成23年11月より兵庫県立考古博物館に調査を委託しており、弥生時代の竪穴式住居跡や鎌倉時代の掘立柱建物などが発見されました。当日は、地元の方など約50名に参加いただき、兵庫県立考古博物館職員の方の説明を熱心に聞き、古くから集落であったこと等、古代の文化に理解を深めていました。

神戸市域においては、今後も発掘調査を予定しており、調査が終わったところから順次、工事の準備に移ります。



須惠器装（広根遺跡出土遺物）



【H23.11アンケート結果】

